徳　島　県

埋蔵文化財センター年報

Vol. 25　2013 年度

２０１４

公益財団法人　徳島県埋蔵文化財センター

徳島城下町跡　徳島町１丁目地点の調査状況

徳島城下町跡　徳島町１丁目地点出土の荷札木簡

は　じ　め　に

本書は，平成 25 年度に公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターが実施した事業の概要をまとめたものです。

徳島県から委託を受け，発掘調査・出土品整理・普及事業などを実施し，大きな成果を上げることができました。

発掘調査では６遺跡の発掘調査を実施しました。国交省関連の新直轄・横断自動車道の事業が過半を占め，その他に国交省道路及び河川，最高裁判所に関連する事業を実施しました。

出土品整理においては，５事業の作業を行いました。南蔵本遺跡の整理と報告書刊行，大松遺跡・深瀬遺跡・拝東遺跡および県指定文化財の整理や分析を行いました。

普及では，速報展「発掘とくしま２０１３」とその関連行事を行ったほか，市町村の職員に対して埋蔵文化財の専門技能を習得するための研修や各種の研修を受け入れました。また，「地域の文化遺産次世代継承事業」として，矢野遺跡の鍛冶遺構をもとにした弥生鍛冶の講座と体験行事を実施しました。

県立埋蔵文化財総合センターの指定管理者としての事業についても継続的に行っています。自主事業では，各種の体験メニューのほか，企画展や連続講座を企画・実施しました。ボランティア活動の支援を平成 23 年度以降継続的に行っています。３つのコースでの活動を実践しながら，成果をみていただく機会を設けたり，各種行事でのサポートとして活躍しています。

今後とも，発掘調査や出土品整理，埋蔵文化財の保存と活用に積極的に取り組むとともに，県民のみなさまに親しみやすい埋蔵文化財の公開活用を目指して参りますので，より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
理事長　　福　家　清　司

目　　次

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
Ⅰ　平成 25 年度公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの組織 ・・・・・・・・・・・・・・ 5
Ⅱ　平成 25 年度事業概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要

1　設立の目的

徳島県内における埋蔵文化財（出土した文化財を含む。）の調査・研究に関する事業を行い，文化財保護意識の啓発普及を図り，もって地域文化の振興に寄与することを目的とする。

2　設立年月日

平成元年４月１日（平成 22 年４月１日公益財団法人移行）

3　事業内容

⑴ 埋蔵文化財の発掘調査及び研究を行う事業

⑵ 出土した文化財の整理及び保存を行う事業

⑶ 埋蔵文化財の活用及び保護意識の啓発普及に関する事業

⑷ 徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営に関する事業

⑸ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4　資産及び会計

⑴ 資産構成　　財団設立当初の財産，寄附金品，事業収入，資産収入，その他収入

⑵ 資産種別　　基本財産，運用財産

⑶ 事業年度　　毎年４月１日から翌年３月 31 日まで

⑷ 基本財産　　10,000,000 円

⑸ 決 算 額　　399,380,000 円（平成 25 年度事業収入）

5　評議員

⑴ 評 議 員　　５名（定数３名以上５名以内）

⑵ 任　　期　　４年

⑶ 評議員会

①権限　　ア　評議員，理事及び監事の選任及び解任

イ　貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれら附属明細書の承認

ウ　定款の変更等

②開催　　定時評議員会（年１回開催），臨時評議員会

6　役員

⑴ 理　　事　　10 名（定数３名以上 10 名以内）

理事のうち１名を理事長，１名を副理事長，１名を専務理事，１名を常務理事とする。

⑵ 監　　事　　２名（定数２名以内）

⑶ 任　　期　　２年

⑷ 理 事 会

①権限　　ア　法人の業務執行の決定

イ　理事の職務の執行の監督

ウ　理事長，副理事長，専務理事及び常務理事の選定及び解職

②開催　　通常理事会（年２回開催），臨時理事会

7　主たる事務所

⑴ 徳島県立埋蔵文化財総合センター内

① 所 在 地　　徳島県板野郡板野町犬伏字平山 86 番２

② 敷地面積　　16,093㎡

③ 建　　物　　鉄筋コンクリート造２階建（一部鉄骨造）2,554.05㎡

事務室，研究員室，展示室，図書資料室，情報処理室，分析室，機材保管室，整理復元室，写真撮影室，木器，鉄器処理室等

8　事務局職員（平成 25 年４月１日現在）

⑴ 常勤職員　　24 名

内　訳　　派遣職員等６名，財団職員 13 名，嘱託職員３名，研究補助員２名

⑵ 非常勤職員　　19 名

内　訳　　調査補助員７名，整理作業員 12 名

Ⅰ　平成 25 年度　公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの組織

平成 25 年4月1日現在

1　評議員・役員

評　議　員	天羽　利夫	鳥居龍蔵を語る会代表
	木原　克司	元鳴門教育大学大学院教授
	村澤　普恵	徳島大学国際コーディネーター
	仁義　知得	元県立美術館長
	伊丹　康裕	元県中央児童相談所長
理　事　長	福家　清司	所長
副理事長	板東　　武	元鳴門市第一中学校長
専務理事	菅原　康夫	事務局長
理　　事	真鍋　俊照	四国大学教授・大日寺住職
	佐野　義行	県教育委員会教育長
	佐々木清克	元県立文書館長
	両角　芳郎	元県立博物館長
	吉田　一紀	元県教育委員会文化財課長
	竹原　紀幸	元県教育委員会教育文化政策課長
	湯浅　利彦	県教育委員会教育文化政策課長
監　　事	長地　孝夫	公認会計士
	井上　　薫	県教育委員会生涯学習政策課長

2　職　　員

所　　長（理 事 長）　福家　清司
事 務 局 長（専務理事）　菅原　康夫

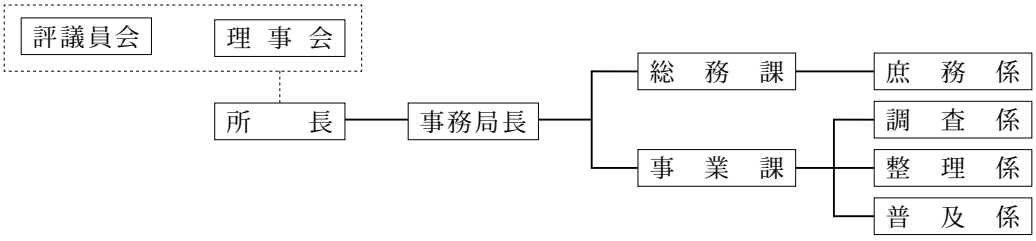
◇総　務　課

課　　長	漆川　明彦
庶　務　係	
庶 務 係 長	大橋　育順
主 任 主 事	妹尾　　悟
事 務 嘱 託 員	濵　佳緒里
〃	細田　愛美

◇事　業　課

課　　長	藤川　智之
担 当 課 長	矢野　　修
調　査　係	
研 究 主 査	久保脇美朗
専 門 研 究 員	栗林　誠治，田川　　憲
主 任 研 究 員	島田　豊彰
研　究　員	近藤　大器，岩﨑　慎司 林　　愛子
研 究 補 助 員	山下　智美，市村　　恵
整　理　係	
専 門 研 究 員	氏家　敏之，原　　芳伸 近藤　　玲
主 任 研 究 員	大北　和美
普　及　係	
専 門 研 究 員	植地　岳彦
事 務 嘱 託 員	桐山　美穂

3　組　織　図



Ⅱ　平成 25 年度事業概要

1　評議員会・理事会の開催状況について

⑴ 第13回書面理事会

開催日　　平成 25 年 4 月 1 日（月）

議　案　　理事の選任について

⑵ 第 6 回書面評議員会

開催日　　平成 25 年 4 月 1 日（月）

議　案　　理事の選任について

⑶ 第14回書面理事会

開催日　　平成 25 年 4 月 1 日（月）

議　案　　理事長及び専務理事の選定並びに所長及び事務局長の任命について

⑷ 第15回通常理事会

開催日　　平成 25 年 5 月 16 日（木）

議　案　　平成 24 年度事業報告について

　　平成 24 年度事業収支決算について

⑸ 第 7 回定時評議員会

開催日　　平成 25 年 6 月 3 日（月）

議　案　　平成 24 年度事業報告について

　　平成 24 年度事業収支決算について

⑹ 第16回通常理事会

開催日　　平成 26 年 3 月 27 日（木）

議　案　　平成 25 年度事業計画の変更について

　　平成 25 年度事業収支予算の補正について

　　平成 26 年度事業計画について

　　平成 26 年度事業収支予算について

　　職員給与規則の一部改正について

2　事業の実施状況について

⑴ 埋蔵文化財発掘調査業務

県から委託を受けて 6 事業 6 遺跡，表面積 11,807㎡，のべ面積 22,403㎡の発掘調査を実施した。

①四国横断自動車道（阿南～徳島東）（新居見地区）関連埋蔵文化財発掘調査業務

小松島市新居見町　新居見遺跡　　調査面積 2,661㎡（のべ 2,661㎡）

②四国横断自動車道（阿南～徳島東）（田浦地区）関連埋蔵文化財発掘調査業務

小松島市田浦町　　田浦遺跡　　調査面積 4,781㎡（のべ 9,562㎡）

③一般国道 192 号徳島南環状道路（日比宇地区）関連埋蔵文化財発掘調査業務

徳島市上八万町　　広田遺跡　　調査面積 880㎡（のべ 1,760㎡）

④一般国道 32 号猪ノ鼻道路（西井川地区）関連埋蔵文化財発掘調査業務

三好市井川町　　佃遺跡　　調査面積 1,326㎡（のべ 1,326㎡）

⑤平成 25 年度徳島地家簡裁庁舎敷地埋蔵文化財発掘調査委託業務

徳島市徳島町　　徳島城下町跡　調査面積 1,909㎡（のべ面積 5,844㎡）

⑥平成 25 年度那賀川河川改修事業（深瀬堤防）に伴う埋蔵文化財発掘調査業務

阿南市深瀬町　　深瀬遺跡　　調査面積 250㎡（のべ 1,250㎡）

⑵ 埋蔵文化財出土品整理業務

次の 5 事業 5 遺跡の出土品整理業務を実施した。

①平成 25 年度那賀川河川改修事業（深瀬堤防）に伴う埋蔵文化財発掘業務（整理業務）

阿南市深瀬町　　深瀬遺跡　　コンテナ 117 箱の整理

②平成 25 年度四国横断自動車道（徳島～鳴門）関連埋蔵文化財整理業務

徳島市川内町　　大松遺跡　　コンテナ 198 箱の整理

③平成 25 年度県立中央病院改築事業関連埋蔵文化財整理業務

徳島市南蔵本町　　南蔵本遺跡　　コンテナ 140 箱の整理　報告書 300 部の刊行と関係機関への発送

④緊急地方道路（鳴門・池田線）関連埋蔵文化財整理業務

美馬市脇町　　拝東遺跡　　コンテナ 70 箱の整理

⑤平成 25 年度阿波のまほろば総合活用事業に伴う埋蔵文化財整理業務

国の重要考古資料に選定されている徳島市国府町の観音寺遺跡・敷地遺跡の出土品について，重要文化財の指定を受けるための基礎整理作業の実施

⑶ 平成 25 年度徳島県立埋蔵文化財総合センター収蔵庫等管理業務

県立埋蔵文化財総合センターにおいて，収蔵庫内に保管されている埋蔵文化財を適正に保管・管理し，また借用や実見，出版物掲載など資料の利活用に対応した。

⑷ 遺物保存処理等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおいて，県内の埋蔵文化財の保存・活用がなお一層図られることを目的とし，収蔵庫内の埋蔵文化財検索システムの構築，遺物保存処理等の業務を実施した。

⑸ 「徳島のいにしえ再発見　史跡・埋蔵文化財総合活用事業」の実施

埋蔵文化財発掘調査の成果を広く還元するため，埋蔵文化財速報展「発掘とくしま」及び関連行事を実施した。

⑹ 埋蔵文化財発掘調査等技能習得研修業務の実施

埋蔵文化財専門職員未採用市町村の職員を対象に埋蔵文化財発掘調査等の実地研修を実施し，基礎的な技能を習得させることにより，実際の埋蔵文化財保護業務に対応できることを目的とした業務を受託し，三好市教育委員会より 1 名の職員の研修を実施した。

⑺ 「地域の文化遺産次世代継承事業　阿波の弥生鍛冶を再現する」の実施

徳島市国府町矢野遺跡で発見された弥生時代の鍛冶工房をもとに，弥生時代の鉄器生産について講座と体験からなる「阿波の弥生鍛冶を再現する」を実施した。

⑻ 徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として，適切な管理運営業務を行った。

3　平成 25 年度収支決算

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成 25 年度の収支決算等は次のとおりである。

⑴ 収入の部　（単位：円）

科　　目	平成 24 年度	平成 25 年度	比較増減額	備　　考
1　基本財産運用収入	30,003	30,003	0	
2　事　業　収　入	451,607,000	399,380,000	△ 52,227,000	
3　特定資産運用収入	26,943	13,027	△ 13,916	
4　雑　　収　　入	616,480	478,770	△ 137,710	
5　繰　　越　　金	3,030,837	3,030,837	0	
合　　計	455,311,263	402,932,637	△ 52,378,626	

⑵ 支出の部　（単位：円）

科　　目	平成 24 年度	平成 25 年度	比較増減額	備　　考
1　事　　業　　費	413,155,258	359,426,798	△ 53,728,460	
2　管　　理　　費	39,125,168	40,475,002	1,349,834	
合　　計	452,280,426	399,901,800	△ 52,378,626	

⑶ 平成 25 年度収支差額

収入額合計	402,932,637 円
支出額合計	399,901,800 円
次期繰越額	3,030,837 円

⑷ 事業量の推移

年度	発掘面積（㎡）	整理コンテナ数（箱）	総事業費（円）
平成 元	28,480	2,168	156,518,712
2	192,320	—	901,759,018
3	79,169	1,994	373,471,037
4	62,871	1,237	288,440,306
5	17,414	708	411,395,390
6	22,206	572	466,667,478
7	98,707	819	1,806,576,390
8	246,852	1,016	3,073,287,360
9	102,161	1,145	3,471,304,650
10	72,204	2,655	1,746,591,400
11	53,253	2,783	1,879,475,750
12	92,473	2,403	2,231,271,799
13	92,745	2,800	1,907,957,562
14	92,714	2,800	1,772,501,177
15	73,738	2,817	1,517,108,520
16	27,328	2,803	963,345,800
17	24,596	2,800	942,687,000
18	28,150	2,800	855,382,500
19	28,711	2,940	879,415,900
20	21,365	700	467,417,000
21	22,680	480	465,879,000
22	22,504	420	379,320,800
23	28,284	140	402,160,600
24	26,264	280	451,607,000
25	22,403	525	399,380,000

Ⅲ　調査事業報告

当初計画では，6 事業 6 遺跡，のべ面積 20,946㎡の発掘調査を行う計画であったが，変更の結果，事業や着手遺跡には変更がなかったものの，のべ面積 22,403㎡の発掘調査を実施した。

変更が行われた点は，着手遺跡・調査期間・受託金額などである。変更が生じた主な理由は，遺構面数や密度が当初設計と異なるものであったこと，調査期間が変更された遺跡があることなどによる。

調査は県東部（徳島市・小松島市）および県南部（阿南市）・県西部（三好市）で実施された。

そのうち，成果を上げた主な遺跡を紹介すると，徳島城下町跡徳島町 1 丁目地点では，江戸期の絵図に記録された「新御蔵」および屋敷地が確認された。「新御蔵」では，敷地内の区画溝が検出されたほか，廃棄土坑からは荷札木簡が 200 点あまり出土した。記載内容から 17 世紀後半のもので，荷が五斗を単位とした藩直轄領からの年貢米であることから「新御蔵」の機能と合致する。さらに「升取」などから厳密な検収の様子を窺うことができる。記載内容・形状などを検討することにより，徳島藩の藩経済の一端を知ることのできる好資料といえる。

新居見遺跡では平成 21 年度以降断続的に調査が行われており，縄文時代～室町時代までの各年代の遺構の様相がおおよそ明らかとなりつつある。平地の調査区では，中世各期の遺構の広がりが面的に捉えられる。注目すべき遺構として，副葬品として青磁碗をもつ石組構造を伴う墓がある。屋敷地のなかで縁辺に位置するとみられる。

田浦遺跡は，連続する妙連と子安の 2 地区からなる。妙連地区の遺構の密度は非常に高い。多数の建物跡や溝に 4 基の井戸が規則的に配置された状態で検出されている。その性格付けについては，引き続き課題が残る。奈良～平安時代にかけての道路遺構と考えられる遺構が検出されている。一部に側溝を伴い，路面中央に「波板状」とも呼ばれる凹凸がある。県下での数少ない道路遺構であり，地理的な解明が必要となる。また，子安地区では，旧流路堆積土中から埴輪が出土している。円筒埴輪のなかに通常の大きさのものに加えて大形品を含み，家形や蓋形など形象埴輪数種類から構成される。西に隣接する子安観音塚古墳に伴う可能性が高く，勝浦川流域の首長墓を考える新しい材料となった。

佃遺跡は河岸段丘上の中世期の遺構の広がりを確認し，近隣に弥生時代集落の存在の可能性を指摘した。深瀬遺跡・広田遺跡は以前の調査地点の隣接であり，集落や遺構の縁辺の状況を知ることができた。（藤川）

外部委託事業等関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1	新居見遺跡	小松島市新居見町山路ほか	2,661㎡（調査面積） 2,661㎡（のべ面積）	H25.4.1～H25.6.30 H25.11.1～H25.12.31	◎ 鎌倉時代 ◎ 室町時代	小穴・土坑・土壙墓・溝・自然流路	土師器・須恵器・瓦器・陶磁器
2	田浦遺跡	小松島市田浦町妙蓮・子安	4,761㎡（調査面積） 9,562㎡（のべ面積）	H25.4.1～H26.3.31	○ 弥生時代 ○ 古墳時代 ○ 奈良時代 ○ 平安時代 ◎ 鎌倉時代	掘立柱建物・小穴・土坑・溝・鍛冶遺構・水田遺構	弥生土器・土師器・須恵器・埴輪・瓦器・陶磁器・金属製品・石製品
3	広田遺跡	徳島市上八万町広田	880㎡（調査面積） 1,760㎡（のべ面積）	H25.7.1～H25.10.31	◎ 弥生時代 ◎ 古墳時代 中世	竪穴住居・掘立柱建物・小穴・土坑・溝・水田遺構・自然流路	弥生土器・土師器・須恵器・鉄製品・銅製品・木製品
4	佃遺跡	三好市井川町佃	1,326㎡（調査面積） 1,326㎡（のべ面積）	H26.1.1～H26.3.31	◎ 弥生時代 ◎ 室町時代	小穴・土坑・溝・集石遺構	弥生土器・石器・土師器・須恵器・陶磁器
5	徳島城下町跡	徳島市徳島町１丁目	1,909㎡（調査面積） 5,844㎡（のべ面積）	H25.6.1～H26.3.31	◎ 江戸時代	小穴・土坑・井戸・溝	陶器・磁器・土師質土器・瓦・鉄製品・石製品・木製品・木簡・獣骨・人骨
6	深瀬遺跡	阿南市深瀬町岡崎	250㎡（調査面積） 1,250㎡（のべ面積）	H26.1.1～H26.3.31	◎ 縄文時代 ○ 弥生時代 ○ 平安時代 ○ 鎌倉時代	小穴・土坑・配石墓	縄文土器・石器・弥生土器・土師質土器・瓦器

表面積 11,787㎡　のべ面積 22,403㎡

発掘調査業務一覧

外部委託事業（●）

発掘調査地点位置図

新 居 見 遺 跡

所 在 地　小松島市新居見町山路ほか
調査期間　平成 25 年 4 月 1 日～ 6 月 30 日
　　平成 25 年 11 月 1 日～ 12 月 31 日
担 当 者　栗林　田川　近藤（大）　岩﨑

1　調査地の位置（徳島）

調査概要　平成 21 年度以来 5 年目の発掘調査を実施した。遺跡は，勝浦川の支流である神田瀬川右岸の標高 7m 前後を測る微高地上に立地する。これまでの成果としては田野山地山裾の調査区から県内で唯一土偶が出土し，古墳時代では階層差が反映された種々の埋葬施設が確認され，さらに中世荘園の『太奈保』に関連すると考えられる集落が確認されている。

遺構と遺物　注目すべき遺構には北側の調査区で確認された，拳大～人頭大の礫で「コ」の字状に囲った土壙墓（ST1001）がある。囲礫には砂岩礫や石英系統礫，結晶片岩礫を用い主軸は N-17°-E を向く。西側は礫を配さない代わりに円礫を非常に多く含む地山の落ち際を側壁に当てている。

ST1001 内の北西側から完形の青磁碗が出土した。遺骸の頭部付近（北枕西面の顔側）に副葬されたものと思われ，おそらく棺外にあったものが棺の崩落とともに落下し横倒しの状態になったものであろう。口径 16.2㎝，器高 7.1㎝を測る。12 世紀後半～ 13 世紀初頭の年代が考えられ，同安窯の産と考えられる。

2　A3 区　第 1 面完掘状況（北から）

3　A7 区　ST1001 完掘状況

4　A7 区　ST1001 青磁碗出土状況

ま と め　神田瀬川に近い調査区では，川に向かって緩やかに傾斜する地形をしており，周辺の調査区に比べ遺構密度は低く，掘立柱建物跡など屋敷地に伴う遺構は見られなくなる。その一方で ST1001 のように墓が築かれることから墓域としての空間利用であったことが考えられる。また，ST1001 は周囲を礫で囲い，完形の青磁碗を副葬するという徳島県下でも例が少ない埋葬形態をもつ。これにより中世阿波の墓制に関する一つの成果を新たに得られたといえる。（田川）

田 浦 遺 跡

所 在 地　小松島市田浦町字妙蓮，字子安
調査期間　平成25年４月１日～平成26年３月31日
担 当 者　久保脇　島田　山下　市村

調査概要　本遺跡は，勝浦川南岸平野に形成された標高約 3m の微高地に営まれた遺跡である。このたび，古墳・古代・鎌倉の３時期について成果があった。

古墳時代　調査区南端の流路から古墳時代中期（5 世紀）の埴輪が多数出土した。出土地点の西に子安観音塚古墳などが現存しており，これらの古墳に伴うものとみられる。円筒形のほか甲冑形や蓋形などの形象埴輪がある。また小型で軟質，粗雑な作りの在地系と，大型で硬質，丁寧な作りの畿内系に大別される。畿内系埴輪は県下でも稀なもので，この地域の首長が畿内と密接な関係にあったことを示すものとして注目される。

古 代　調査区北側で８～９世紀の道路とみられる礫敷き遺構が確認された。直径約 2㎝の砂利や破砕した土器片を幅２m，南北 40 mにわたって敷きつめ，波板状凹凸面を伴う。この時期の道路遺構としては県下３例目となる。当時の官道と比較して小規模なことから，集落内の通路と考えられる。この道路遺構に重なって平安後期の直線溝や鎌倉時代の屋敷境，現代の水田や用水路が重なっており，土地区画の基軸として継承されたと言えよう。

鎌倉時代　13 世紀前後には，調査区北半部で 3,200 基もの遺構が密集する。浅い二重の溝で囲まれた東西 20m，南北 40m の屋敷地２区画と 11 棟の建物が確認された。中世の田浦遺跡は高野山領太奈保に属する集落の一部とみられ，屋敷地は集落の有力者層の居所とみられる。北側の屋敷地内でＬ字形に配置された井戸４基は，それぞれ構造が異なるものの同時期性が高い。他に例を見ないもので，その用途や性格については不明である。

ま と め　以上，田浦遺跡は各時代で大きな特色をもつことが明らかになってきた。勝浦川下流域の歴史的重要性を語る遺跡としておおいに注目される。（島田）

1　調査地の位置（徳島・阿波富岡）

2　流路からの埴輪出土

3　古代の礫敷き遺構

4　鎌倉時代の屋敷地

広 田 遺 跡

所 在 地　徳島市上八万町広田
調査期間　平成25年７月１日～平成25年10月31日
担 当 者　田川　岩﨑

調査概要　本遺跡は園瀬川の右岸，標高 3m 前後を測る微高地上に立地する。これまでの発掘調査では弥生時代後期～古墳時代後期と古代の竪穴住居や掘立柱建物を中心とした集落跡が確認されており，古墳時代以降は星河内谷川を挟んで 500m 北に位置する寺山遺跡とは密接な関係であることがうかがえる。

今回は２ヵ所の調査区を設定し弥生時代～古代の竪穴住居跡８軒と掘立柱建物跡２棟，中世の水田跡を確認した。

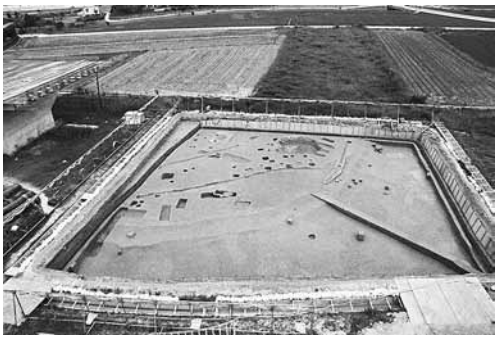
遺構と遺物　２区とした調査区の古墳時代～古代の遺構面から２間×３間の規模をもつ総柱式の掘立柱建物跡を１棟確認した。柱穴はいずれも隅丸方形を呈し，概して長軸 0.65㎝を測る。12 基で構成された柱穴のうち２基は後世の遺構により破壊を受けていたため残存していないが，7 基の柱穴内において柱材が残存していた。柱材の規模は残存長約 17 ～ 53㎝，断面形態は楕円形を呈するものがほとんどで最大幅約８～ 13 ㎝を測る。

また，自然流路内からは弥生時代終末～古墳時代初頭，古墳時代後期の土器を中心とした遺物がまとまって出土した。

ま と め　今回の２区は広田遺跡でも東側の縁辺部にあたり，東西から南北に向きを変える園瀬川の旧河道の一部が確認できたことは遺跡や各時代の遺構の広がりもとらえることとなり一つの成果と言えよう。

一方，平成 17 年度に続き掘立柱建物跡から出土した柱材は，樹種などの分析は今後の課題となるが，当時の植生や木材利用の仕方など広田遺跡の様々な状況を考える上で学術的に有効な成果を得たといえる。（田川）

1　調査地の位置（徳島）



2　２区第３面完掘状況

3　２区 SA3001 完掘状況（南から）

4　２区 SR3001 出土状況

佃 遺 跡

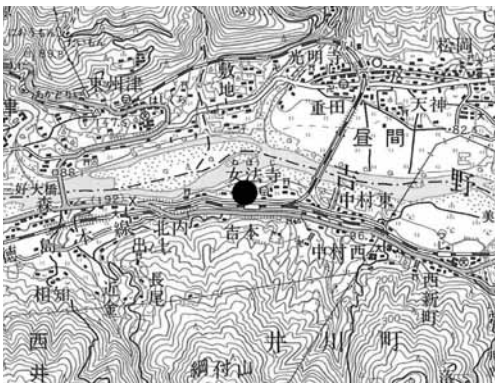
所 在 地　三好市井川町西井川
調査期間　平成26年１月１日～平成26年３月31日
担 当 者　田川　岩﨑

調査概要　佃遺跡は，吉野川南岸の標高 90m 前後を測る段丘上（B 区）と吉野川の氾濫平野上（A 区）に立地する。徳島県遺跡地図では散布地とされていたが今回発掘調査を実施した結果，段丘上を中心に展開する弥生時代と中世の集落遺跡であることが判明した。

遺構と遺物　B 区を中心に確認できた。遺構面は 1 面で，弥生時代のピットや土坑，中世の掘立柱建物跡などである。遺物は讃岐地域からの搬入土器を含む弥生時代後期～終末期の土器とサヌカイト製石鏃および中世後半の土師器片や須恵器片が出土している。

ま と め　段丘上の B 区では弥生時代後期以降の遺構・遺物が確認されたことにより，讃岐地域との交流のある集落遺跡の存在が推定されるようになったこととその時期まで遺跡の開始が遡ることがわかったことが成果である。中世段階では確認された範囲で小規模ながらも集落を構成していたことがわかった。これらの遺構は後述する開発により検出面が岩盤よりも低いレベルであったが，本来はより高い位置からのものであり遺構によっては岩盤に至るまで掘り下げられているものもあったため調査時点では岩盤の間から検出されているように見える結果となった。

周辺での聞き取り調査では調査地近隣は江戸期以降には確実に民家などが建ち並ぶようになったようである。B 区内では結晶片岩の岩盤の頂部をほぼ水平に削平した痕跡などを多くとどめることから，近世以降，土地開発に伴い整地を繰り返すことにより屋敷地を設ける様子なども確認できた。（田川）



1　調査地の位置（阿波池田）

2　B 区　第 1 面完掘状況

3　B 区　SK1008 弥生土器出土状況

4　サヌカイト製石鏃出土状況

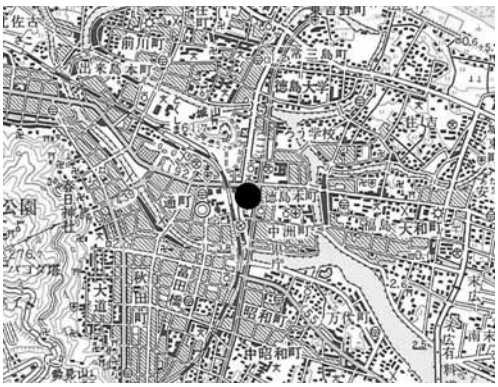
徳島城下町跡（徳島町１丁目地点）

所 在 地　徳島市徳島町１丁目
調査期間　平成25年６月１日～平成26年２月28日
担 当 者　栗林　近藤（大）

調査概要　調査地の位置は，徳島城の外郭である「徳島惣構」を構成する「徳島」の一角にあたる。この「徳島」は，徳島藩蔵や藩の家老・中老・物頭等上級家臣屋敷地によって構成されており，幕末期の絵図には「新御蔵」と徳島藩中老森甚太夫家および中老武藤左膳家の屋敷地として描かれている。

遺構と遺物　徳島地方裁判所の新旧施設の下部には建物基礎による攪乱を受けているものの，城下町成立期から幕末までの４面の生活面が確認できた。17 世紀後半の第３遺構面の溝状遺構からは木簡が廃棄された状況で検出された。木簡は 200 点以上となり，徳島城下町跡出土のものとしては一地点でもっとも多い。基本的に「米五斗」の俵に付された付札木簡で，納入した人物名や村の名前などを表裏面に記す。地名には海部郡や名東郡の地名が多く見られる。記載内容からみて藩の直轄領からの年貢米に伴うと考えられ，この地が「新御蔵」であることを裏付けている。「升取」や「五人組」「御取立」の表記から，年貢に対する厳密な数量管理や収受のためのシステムが機能していたことが窺える。また，この上面の遺構面では石組みの溝が複数回にわたって作られており，蔵の土蔵を区画する施設と考えられる。

ま と め　年貢米に伴う木簡の出土により，絵図に記された徳島藩の公的施設の一端を明らかにすることができた。今後，木簡の釈読・検討を進めることにより，藩をどのように運営していたかを経済面から知ることができるもので，近世研究に大きく貢献できる成果といえる。



1　調査地の位置（徳島）

2　調査区東半　第４遺構面完掘状況

3　地鎮祭祀（調査区西半　第３遺構面）

4　木簡廃棄状況（調査区西半　第３遺構面）

深 瀬 遺 跡

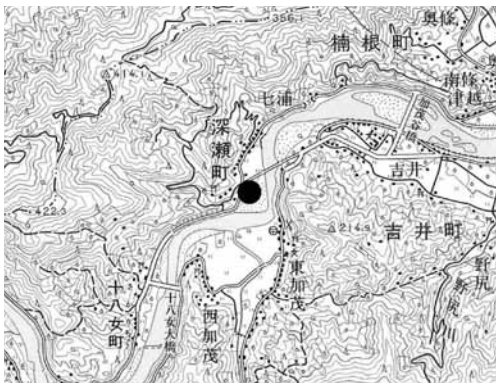
所 在 地　阿南市深瀬町岡崎
調査期間　平成26年１月１日～平成26年３月31日
担 当 者　久保脇　市村

調査概要　深瀬遺跡は，那賀川の形成する標高 25m の段丘上に位置する。これまでに平成 22・24 年度にも隣接地点で調査を実施している，縄文時代前期から中期初頭，後期末，晩期，弥生時代後期から古墳時代初頭，平安時代から中世に至る各年代の遺構面において遺構・遺物を検出しており，今回も同様の年代の成果が得られた。

遺構と遺物　弥生時代の遺構面からは，配石墓または石棺墓が 4 基検出された。人頭大の砂岩を坑内に配置するもので，うち 1 基からは副葬品とみられる小形壺が出土した。出土した土器からは弥生時代後期から古墳時代初頭のものと考えられる。同様の遺構はこれまでの調査時のものと合わせ 6 基となり，集落縁辺において墓域を形成してものとみられる。

縄文時代では前期末から中期初頭・後期末の遺構面を確認した。土器・石器は多く出土しているものの炭化物や焼土を伴う遺構が数基確認されたほかは明瞭な遺構は少ない。ただし，遺構面ごとに砂岩礫の集積が認められる点は注目される。

ま と め　これまでの調査と同様，多様な年代の遺構・遺物が出土した。特に，縄文時代の遺構面が複数確認される遺跡は県内でも少なく，那賀川が屈曲部している地点の尾根上という立地に依るものであろう。また，大量の砂岩礫の集積からは堅果類加工による食糧確保を行っているものとみられ，その生業の一端についても知見を得られた。（藤川）



1　調査地の位置（阿波富岡）

2　調査地点遠景（北から）

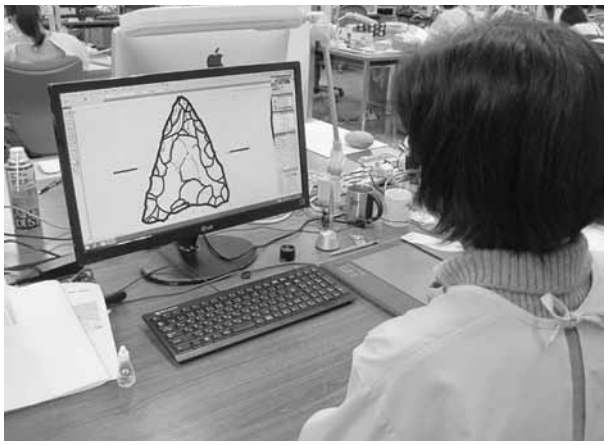
3　弥生時代の配石墓

4　第４包含層　磨製石斧出土状況

Ⅳ　埋蔵文化財出土品整理業務

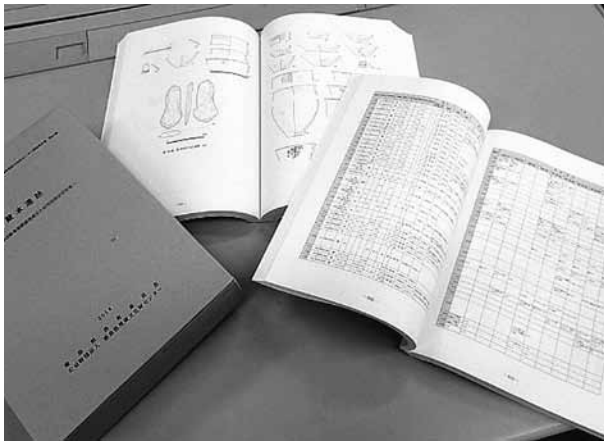
徳島県からの委託を受け，次の５事業５遺跡の出土品整理業務を実施した。

大松遺跡　遺物洗浄作業



深瀬遺跡　遺物実測図トレース作業

南蔵本遺跡　報告書レイアウト作業



南蔵本遺跡　刊行報告書

出土品整理業務一覧

事業名	遺跡名	所在地	整理期間	担当者名	整理概要	備考
平成 25 年度四国横断自動車道（徳島～鳴門）関連埋蔵文化財整理業務	大松遺跡	徳島市川内町	H25.4.1 ～ H26.3.31	氏家・原・大北	遺物洗浄･注記･接合･復元・遺物実測・トレース・観察表作成・写真撮影	
平成 25 年度県立中央病院改築関連埋蔵文化財整理業務	南蔵本遺跡	徳島市南蔵本町	H25.4.1 ～ H26.3.31	近藤	遺物実測・トレース・観察表作成・写真撮影・レイアウト・原稿執筆	報告書 300 部刊行と発送
平成 25 年度那賀川河川改修事業（深瀬堤防）に伴う埋蔵文化財発掘業務（整理業務）	深瀬遺跡	阿南市深瀬町	H25.6.1 ～ H26.3.31	原	遺物洗浄･注記･接合･復元・遺物実測・トレース・観察表作成	
鳴門・池田線緊急地方道路整備事業関連埋蔵文化財整理業務	拝東遺跡	美馬市脇町	H25.4.1 ～ H25.5.31	原	遺物実測・トレース・観察表作成	
県指定出土文化財整理業務	観音寺遺跡敷地遺跡	徳島市国府町	H25.9.1 ～ H25.9.30	大北	出土品の抽出・台帳作成	

Ⅴ　普及事業報告

平成 25 年度の普及事業は，埋蔵文化財の保護・活用と普及啓発を目的とし，指定管理者としての自主事業を中心に，従来の業務も継承しながら，更なる充実のための創意工夫を加えて実施した。

1　管理運営業務

収蔵庫資料整理等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおいて，県内の埋蔵文化財の保存・活用が一層図られることを目的とし，遺物保存処理，収蔵庫内の資料保管，検索ファイルの作成，図書受納等の業務を行った。

・受贈図書数　　1,504 冊

2　徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として，管理運営事業計画に記載した管理運営の基本方針（利用促進，サービス向上，コスト削減，施設の適正な維持管理，地域への貢献・連携，安全管理，環境への配慮）に沿って，適切な管理運営業務を実施した。

⑴ 対象施設の利用状況

・期　　間　　平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

・来所者数　　7,749 名

⑵ 自主事業の実施状況

①『アワコウコ楽の逸品』展示

テーマを設定し，企画展を 3 回実施した。

第 1 回　『考古資料の中のハス』

・実施期間　　平成 25 年 4 月 2 日（火）～ 6 月 2 日（日）

・来所者数　　950 名

第 2 回　『夏休み特別展示－さわれる土器－』

・実施期間　　平成 25 年 7 月 23 日（火）～ 9 月 29 日（日）

・来所者数　　1,764 名

第 3 回　『徳島の中世土器』

・実施期間　　平成 25 年 11 月 5 日（火）～ 12 月 27 日（金）

・来所者数　　821 名

②『アワコウコ楽ボランティア倶楽部活動成果展』

遺跡案内人プロジェクト・万葉の草花を楽しむプロジェクト・古代ものづくりプロジェクトの 3 つのプロジェクトについて，活動の様子をパネルを使って紹介した。

・実施期間　　平成 25 年 10 月 1 日（火）～ 11 月 3 日（日）

・来所者数　　861 名

③四国地区埋蔵文化財センター巡回展『続・発掘へんろ－四国の中世－』

四国各県の中世の遺跡から出土した遺物の内，代表的なものを選出して企画展示を行った。

・実施期間　　平成 26 年 1 月 10 日（金）～ 3 月 16 日（日）

・来所者数　　1,006 名

関連行事　おもしろ古代体験『中世土器をつくろう』

・実 施 日　　平成 26 年 2 月 2 日（日）

・参加者数　　21 名

④古代体験まつり

古代体験を 1 日でたくさんできるイベントとして実施した。

・実施内容　　銅鐸，ガラス玉，古代米脱穀，麦種まき，火おこし，缶バッジ，組紐，古代衣装試着，まいぶんスケッチコンクール，古代米ポン菓子

・ 実 施 日　　平成 25 年 10 月 27 日（日）

・来所者数　　345 名

⑤夏休みおもしろ古代体験

夏休み特別企画として，児童・生徒対象に古代体験を実施した。

・ 実 施 日

『ガラス玉をつくる』　　平成 25 年 7 月 23 ～ 26 日・30 日・31 日
平成 25 年 8 月 1 日・2 日・4 日（121 人）

『銅鐸をつくる』　　平成 25 年 8 月 6 ～ 9 日（22 人）

『銅鏡をつくる』　　平成 25 年 8 月 6 ～ 9 日（29 人）

『草木染』　　平成 25 年 8 月 18 日（15 人）

・参加者数　　187 名

⑥日曜おもしろ古代教室

・ 実 施 日

『種レンコンの植え付け』平成 25 年 4 月 14 日（10 人）

『勾玉づくり』　　平成 25 年 5 月 19 日（13 人）

『ムギ収穫古代米田植え』平成 25 年 6 月 9 日（8 人）

『ガラス玉づくり』　　平成 25 年 6 月 16 日（20 人）

『木簡づくり』　　平成 25 年 7 月 21 日（7 人）

『勾玉づくり』　　平成 25 年 9 月 15 日（31 人）

『ガラス玉づくり』　　平成 26 年 1 月 19 日（7 人）

『勾玉づくり』　　平成 26 年 2 月 16 日（1 人）

この他，『土製品づくり』も企画した。

・参加者数　　96 名

⑦まいぶんスケッチコンクール

受付係が中心となって，展示室にある遺物を題材として色鉛筆で絵

を描くイベントを実施した。実施後，優秀作品を選定し，古代体験まつり開催日に表彰を行った。作品はエントランスに展示し，HP 上で公開した。

・実施期間　　夏季　平成 25 年 7 月～ 8 月

・参加者数　　105 名

⑧土曜考古学専門講座　　全 6 回

講師　藤川　智之（公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター　事業課長）

『古代の阿波』（6/8）51 名

『律令時代の阿波』（7/27）40 名

『阿波国の成立段階』（8/17）28 名

講師　久保脇　美朗（公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター　研究主査）

『吉野川流域の中世土師器の生産』（9/7）32 名

『遺跡出土の中世土師器からみた吉野川流域の地域性』（11/9）20 名

『徳島県沿岸地域の中世遺跡の形成過程』（12/7）21 名

・受講者数　　269 名

⑨アワコウコ楽公開講座

㈠ 前期講座　『2013 発掘とくしま』関連講座

平成 25 年 7 月 7 日（日）

講演『ヤマト王権と埴輪文化』

講師　坂　靖　氏（奈良県立橿原考古学研究所）

受講者数　　78 名

上記の講座は，公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターが専門的立場から提案を行い，徳島県教育委員会と共催した。

㈡ 後期講座　『続・発掘へんろ－四国の中世－』関連講座

第 1 回　　平成 26 年 2 月 9 日（日）

講演『勝瑞城館跡と阿波の中世城館』

講師　重見　高博　氏（藍住町教育委員会）

受講者数　77 名

第 2 回　　平成 26 年 2 月 23 日（日）

講演Ⅰ『考古学から見た中世四国の流通』

講師　橋本　久和　氏（高槻市教育委員会）

講演Ⅱ『歴史学から見た中世四国の流通』

講師　市村　高男　氏（高知大学教育研究部）

受講者数　72 名

⑩アワコウコ学ボランティア養成講座

・基礎講座と応用講座　全 6 回（9/29,10/9,11/14,11/24,12/24,3/16）

㈠ 開講式・ガイダンス

㈡ 万葉の植物を楽しむプロジェクト講座

㈢ 古代ものづくりプロジェクト講座

(ｴ) 遺跡案内人プロジェクト講座

(ｵ) 閉講式（3 名修了）

⑪アワコウコ学ボランティア倶楽部

(ｱ) 万葉の植物を楽しむプロジェクト・・・古代ハスの栽培や万葉集研究を行った。

(ｲ) 古代ものづくりプロジェクト・・・・・草木染めを研究し，イベントを開催した。

(ｳ) 遺跡案内人プロジェクト・・・・・・・中世城館について研究し，現地ガイドを行った。

・実施回数　実習・全体会あわせて　68 回

・参加者数　のべ　315 名

⑫中世城館バスツアー（秋月城・脇城・重清城・池田城・白地城）

県内の中世城館跡を見学し，遺跡案内人プロジェクトのメンバーが現地案内を行った。

・実 施 日　　平成 26 年 3 月 9 日（日）

・参加者数　　49 名

⑬地域の文化遺産次世代継承事業

～阿波の弥生鍛冶を再現する～

・実 施 日　　平成 26 年 3 月 23 日（日）

・参加者数　　28 名

(3) 徳島県立埋蔵文化財総合センター公式ホームページの管理

・アクセス数　24,117

(4) 団体来館対応　42 団体　　1,432 名

	来館月	来館団体名	見学	古代体験（勾玉等）	人数
1	4 月	徳島観光文化協会	○		81
2		阿波市教育委員会社会教育課	○		3
3		阿南市山口小学校 6 年生	○	○	10
4	5 月	徳島市内町小学校	○	○	33
5		板野郡板野町板野東小学校	○	○	76
6		阿南市ふくろうの会	○	○	15
7		吉野川市学島小学校	○	○	19
8	6 月	吉野川市川田西小学校 6 年生	○	○	10
9		板野郡板野町板野西小学校	○	○	20
10		県立板野支援学校	○	○	5
11		シルバー大学大学院歴史文化講座 8 期生	○		13
12		特定非営利活動法人リーフ	○		10
13		県立板野支援学校	○	○	7
14	7 月	サークルフレンズ	○	○	15
15		県立富岡東中学校	○	○	84
16		板野郡藍住町藍住西小学校	○	○	27
17	8 月	稲井グループ	○	○	13
18		板野郡藍住町教育委員会	○	○	34
19		鳴門市小学校教育研究社会科部会	○	○	17
20		県教委初任者研修①	○	○	17
21		県教委初任者研修②	○	○	17
22	9 月	香川県高松市立太田小学校	○		153
23		那賀郡那賀町上那賀中学校	○	○	22

	来館月	来館団体名	見学	古代体験（勾玉等）	人数
24	10 月	板野郡板野町板野南小学校６年生	○	○	36
25		阿波市教育委員会社会教育課	○	○	36
26		吉野川市牛島小学校５・６年生	○	○	44
27		名西郡神山町神山中学校	○	○	3
28		三好郡東みよし町足代小学校５・６年生	○	○	41
29		香川県高松市立多肥小学校	○		161
30		徳島市八万小学校	○		107
31		県立板野支援学校	○	○	5
32	11 月	板野町ボランティア	○	○	13
33		阿波市八幡小学校	○	○	23
34		名西郡神山町広野小学校	○	○	32
35		阿波市大俣小学校	○	○	30
36	12 月	香川県まんのう町文化財保護協会	○		109
37		吉野川市川田西小学校６年生	○	○	25
38		三好市三縄小学校	○	○	8
39		鳴門市あるこう会	○		30
40	２月	県立板野支援学校	○	○	5
41		西野グループ	○	○	4
42		井川町西井川小学校・井内小学校・辻小学校	○	○	19
合計					1,432

3 『徳島の古（いにしえ）　再発見事業』の実施

埋蔵文化財速報展『2013 発掘とくしま』

平成 24 年度に発掘した遺跡からの主要な出土品を展示し，その調査成果をいち早く県民に紹介するとともに，各種関連行事も実施し，郷土の歴史に対する理解と認識，文化財保護意識の向上に努めた。

・実施期間　　平成 25 年 6 月 11 日（火）～ 7 月 21 日（日）

・実施場所　　徳島県立埋蔵文化財総合センター

・速報展示　　新居見遺跡（小松島市）・田浦遺跡（小松島市）・深瀬遺跡（阿南市）
黒谷川郡頭遺跡（板野町）・加茂野遺跡（石井町）

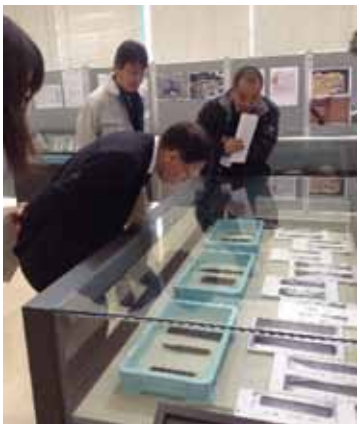
・テーマ展示　　『勝浦川流域の埴輪』

・関連行事

①調査成果報告会　平成 25 年 6 月 30 日（日）

報　　告　　新居見遺跡（氏家専門研究員）・田浦遺跡（田川専門研究員）
加茂野遺跡（原専門研究員）・黒谷川郡頭遺跡（島田主任研究員）

参加者数　　60 名



②テーマ展示解説・講演会

テーマ展示解説『勝浦川流域の埴輪』（藤川事業課長）

講　　演　　『ヤマト王権と埴輪文化』

講　　師　　坂　靖　氏　（奈良県立橿原考古学研究所）

参加者数　　60 名

③おもしろ古代体験『はにわをつくろう』

・実 施 日　　平成 25 年 6 月 23 日（日）

・参加者数　　20 名

4　その他の普及事業

⑴ 埋文 WEB の管理運営

現地説明会の案内･各種イベント案内･発掘作業員などの募集案内や公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの活動内容全般を掲載した。

・アクセス数　　24,117

⑵ 埋蔵文化財センター年報の刊行

・埋蔵文化財センター年報 Vol.24　500 部

⑶ 各種研修の受け入れ

①教職員初任者研修会

県教育委員会教職員課主催の初任者研修の一環として，社会・自然体験（郷土を知る）研修を行った。

・期　　日　　平成 25 年 8 月 23 日（金）8 月 28 日（水）

・研修内容　　講義『埋蔵文化財について』『埋蔵文化財センターの業務

整理業務・収蔵庫の施設見学，常設展・企画展見学，普及活動体験

講義『埋蔵文化財センターの活用方法』

・参加者数　　32 名

②職場体験学習

中学生（板野中学校・城ノ内中学校）の進路指導の一環として実習体験を行った。

・期　　日　　平成 25 年 11 月 12/13/14/15 日

・研修内容　　発掘調査業務（田浦遺跡）

普及業務体験（県立埋蔵文化財総合センター）

・参加者数　　板野中学校 6 名　城ノ内中学校 6 名

③高校生インターンシップ

高校生（板野高校）の進路指導の一環として実習体験を行った。

・期　　日　　平成 26 年 1 月 21 日（火）・22 日（水）

・研修内容　　発掘調査業務（田浦遺跡）

普及業務体験（県立埋蔵文化財総合センター）

・参加者数　　4 名

⑷ 職員の対外活動

№.	期日	内容	氏名
1	4月1日～3月31日	石井町文化財保護審議会委員の委嘱	菅原
2	4月1日～3月31日	阿波市文化財保護審議会委員の委嘱	大北
3	4月1日～3月31日	文化庁埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査研究委員会に関する協力者の委嘱	菅原
4	4月1日～3月31日	小松島市文化財保護審議会委員の委嘱	藤川

No.	期日	内容	氏名
5	7月5日	「徳島県文化財保存整備市町村協議会平成 25 年度第 1 回研修会」への講師として派遣（吉野川市）	藤川
6	7月9日～3月18日	文部科学省文化審議会専門委員（文化財分科会）任命	福家
7	8月8日	「小松島市ふるさと講座」への講師 （小松島市）	藤川
8	11月9日～10日	徳島市立考古資料館 15 周年記念特別企画展「装身具の世界－玉文化に魅せられて－」での講演とシンポジウムのパネラー（徳島市立考古資料館）	菅原
9	3月19日	第 7 回木簡ワークショップへの出席 （奈良県奈良市・独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所）	藤川

⑸ 発掘現場における普及事業

平成 25 年度の発掘調査中の遺跡等の調査成果のうち，徳島城下町跡の調査成果を埋蔵文化財センターにおいて広く県民に公開し，展示解説を行った。

・実施日　平成 25 年 12 月 20 日（金）～ 12 月 27 日（金）

・期間中の来所者数　180 名

・展示解説実施日　平成 25 年 12 月 21 日（土）栗林専門研究員

・展示解説の参加者数　33 名

⑹ 考古資料の活用

利用回数　33 回　利用点数 4,246 点

番	申請様式	資料名等	点数	申請者	利用目的等
1	展示	中庄東遺跡出土　鏡像他	28	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」松山市考古館
2	展示	中庄東遺跡出土　鏡像他	28	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」高知県埋蔵文化財センター
3	展示	中庄東遺跡出土　鏡像他	28	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」香川県埋蔵文化財センター
4	展示	中庄東遺跡出土　鏡像他	28	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」徳島県立埋蔵文化財総合センター
5	出版物掲載	中庄東遺跡出土　鏡像他	28	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	巡回展「続・発掘へんろ」
6	実見	矢野遺跡出土　土製仮面　亀形土製品	2	島根県古代出雲歴史博物館 柳浦　俊一	企画展「山陰の黎明～縄文のムラと暮らし～」での展示のため
7	展示 出版物掲載	犬山天神山古墳　石棺レプリカ 翡翠製勾玉他	19	文化庁次長 河村　潤子	「発掘された日本列島 2013」展に使用
8	出版物掲載	観音寺遺跡出土　69 号木簡　写真データ	1	角川学芸出版代表取締役 山下　直久	角川選書「渡来の古代史」に掲載するため
9	実見	観音寺遺跡出土　69 号木簡・77 号木簡	1	Yale University USA Joshua Frydman	歌木簡についての博士論文執筆のため
10	実見	深瀬遺跡出土　縄文晩期丸玉	1	糸魚川市教育委員会文化振興課 文化財係 山岸　洋一	縄文時代の地域間交流研究のため
11	展示	矢野遺跡出土　土製仮面 亀形土製品	2	島根県古代出雲歴史博物館 玉串　和代	企画展「山陰の黎明～縄文のムラと暮らし～」での展示のため
12	その他	光勝院寺内・大柿・薬師・宮ノ本遺跡出土土器	169	徳島大学ソシオアーツアンドサイエンス研究部 中村　豊	土器表面の種子圧痕を調査する「レプリカ法」研究
13	貸出	矢野遺跡出土朱付着土器 / 名東遺跡出土石杵等	4	海陽町立博物館長 福井　脩	平成 25 年度海部自然・文化セミナーにおいて資料を紹介
14	貸出	田井遺跡出土　玦状耳飾等	94	徳島市教育長　石井　博 考古資料館長　一山　典	徳島市立企画展「装身具の世界－玉文化に魅せられて－」において展示するため
15	出版物掲載	萩原 2 号墓　図版 5 写真 9 写真データ他	3	株式会社吉川弘文館 一寸木　紀夫	和田萃著「歴史の旅　古代大和を歩く」（吉川弘文館）本文挿図（モノクロ）として使用
16	出版物掲載	報告書 14「名東遺跡」巻頭図版 石杵出土状況写真他	17	橘小学校 山本　晃大	社会科自由研究「阿南市若杉山遺跡から聖なる赤『朱』の秘密を探る」への資料掲載
17	貸出	喜来遺跡出土　石鏃　備前焼擂鉢 播磨型羽釜	3	牟岐町教育委員会 佐藤　俊祐	牟岐町杉谷遺跡発掘調査報告会において展示するため

番	申請様式	資料名等	点数	申請者	利用目的等
18	出版物掲載	矢野遺跡出土　土製仮面写真データ	1	株式会社新泉社 石垣　雅設	株式会社新泉社「縄文ガイドブック」に掲載
19	実見　撮影	矢野遺跡出土石杵	1	三重県教育委員会 石井　智大	個人研究
20	出版物掲載	観音寺遺跡出土　人形　写真データ	2	徳島県立博物館長 高島　芳弘	徳島新聞文化欄掲載のため
21	実見・模写・撮影	川端馬越古墳群１号墳　出土鉄釘　２号墳出土鉄 釘・鎹	24	高知大学人文学部 平尾　英希	個人研究
22	出版物掲載	観音寺遺跡Ⅳ　瓦図面・拓本	1	高松市文化財課 渡邊　誠	「古代瓦研究Ⅳ」に掲載するため
23	出版物掲載	観音寺遺跡Ⅲ　12 号 70 号木簡写真データ	2	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター　藤川　智之	「木簡研究第 35 号」に掲載するため個人研究
24	出版物掲載	萩原２号墓　発掘調査報告書　第 30 図データ	1	株式会社吉備人出版 金澤　健吾	「萩原２号墓発掘調査報告書」第 30 図データ
25	実見・模写	庄遺跡出土銅鏡片	1	愛媛大学 斧　香菜子	個人研究
26	実見・撮影	荒川遺跡出土　縄文土器	701	愛媛県埋蔵文化財センター 中野　良一	個人研究
27	実見・撮影	徳島城下町遺跡出土　動物骨等 60 点	60	徳島県立博物館長 高島　芳弘	平成 26 年度企画展における資料借用のための事前調査
28	貸出	深瀬遺跡出土　石皿等 24 点	24	徳島県立博物館長 高島　芳弘	平成 26 年度企画展「食の生活史と自然誌」に展示のため
29	実見・撮影	荒川遺跡出土　縄文土器	680	愛媛県埋蔵文化財センター 中野　良一	個人研究
30	実見	観音寺遺跡出土　土器等	396	桜井市教育委員会文化財課 森　暢郎	個人研究
31	実見	庄・蔵本遺跡出土　土器等	1368	古代学協会 麻森　敦子　他７名	科学研究費助成事業「近畿地方における初期農耕集落形成をめぐる考古学的研究」
32	出版物掲載	観音寺遺跡出土　77 号木簡　写真データ及び実測図	2	株式会社大修館書店 鈴木　一行	『古代日本と古代朝鮮の文字文化交流』に掲載するため
33	実見・撮影	荒川遺跡出土 縄文土器	666	愛媛県埋蔵文化財センター 中野　良一	個人研究
合計	33		利用点数		4246

⑺ 教材等の貸出

移動教材セット等の貸出状況　　２回（利用者　286 名）

番	団体名	人数	貸出日	返却日
1	美馬市教育委員会	176	４月 17 日	５月 21 日
2	板野郡藍住町藍住西小学校	110	４月 17 日	４月 18 日

⑻ 出前授業・体験等の実施　　40 回（参加者　1,443 名）

番	種	団体名	人数	実施日	内容
1	小	徳島市論田小学校	53	４月 15 日	移動教材セット・PPT
2	小	鳴門市瀬戸小学校	8	４月 12 日	移動教材セット・PPT
3	小	鳴門市明神小学校	32	４月 12 日	移動教材セット・PPT
4	小	吉野川市山瀬小学校	52	４月 16 日	移動教材セット・PPT・勾玉
5	小	三好市政友小学校	6	４月 16 日	移動教材セット・PPT
6	小	名西郡石井町石井小学校	131	４月 19 日	移動教材セット・PPT
7	小	阿南市桑野小学校	34	４月 22 日	移動教材セット・PPT・火起こし
8	小	吉野川市知恵島小学校	18	５月 15 日	移動教材セット・PPT・勾玉
9	小	鳴門市鳴門西小学校	58	４月 24 日	移動教材セット・PPT
10	小	板野郡松茂町松茂小学校	93	４月 30 日	移動教材セット・PPT
11	小	板野郡藍住北小学校	75	５月２日	移動教材セット・PPT
12	小	名西郡石井町高川原小学校	62	５月７日	移動教材セット・PPT
13	中	県立川島中学校	65	６月 27 日	移動教材セット・PPT・勾玉
14	小	三好市川崎小学校	8	６月 21 日	移動教材セット・PPT・ガラス
15	小	徳島市宮井小学校	10	７月３日	移動教材セット・PPT・勾玉
16	公	美馬市立脇町図書館	15	６月 22 日	勾玉つくり
17	公	徳島県スポーツ振興財団	50	７月 28 日	移動教材セット・勾玉

番	種	団体名	人数	実施日	内容
18	小	美馬郡つるぎ町半田小学校	26	5 月 24 日	移動教材セット・PPT
19	小	那賀郡那賀町鷲敷小学校	14	5 月 31 日	移動教材セット・火起こし・勾玉
20	小	徳島市川内南小学校	52	6 月 7 日	移動教材セット・ppt
21	公	徳島市城東公民館	50	8 月 21 日	木簡づくり
22	小	三好市足代小学校	25	6 月 14 日	移動教材セット・PPT
23	小	名西郡石井町浦庄小学校	36	6 月 24 日	移動教材セット・PPT
24	小	阿波市大俣小学校	25	6 月 19 日	移動教材セット・PPT
25	公	県スポーツ振興財団	25	8 月 17 日	勾玉つくり
26	小	板野郡板野町板野東小学校	18	8 月 6 日	火起こし
27	公	上板町歴史民俗資料館	8	8 月 24 日	勾玉つくり
28	公	那賀郡鷲敷町教育委員会	44	8 月 26 日	ガラス玉つくり
29	小	吉野川市西麻植小学校	35	10 月 7 日	勾玉つくり
30	小	石井小学校郷土クラブ	10	10 月 23 日	勾玉つくり
31	小	石井小学校郷土クラブ	10	11 月 27 日	火起こし
32	小	石井小学校郷土クラブ	10	12 月 11 日	勾玉つくり
33	小	板野郡藍住町藍住北小学校	79	10 月 8 日	縄文土器づくり
34	小	阿南市福井小学校	30	10 月 29 日	勾玉つくり
35	小	鳴門市大津西小学校	28	11 月 19 日	勾玉つくり
36	小	吉野川市西麻植小学校	48	1 月 15 日	勾玉つくり
37	公	美馬市立脇町図書館	15	3 月 21 日	ガラス玉つくり
38	公	大代古墳保存会	28	1 月 26 日	埴輪つくり成形
39	公	大代古墳保存会	29	3 月 15 日	埴輪つくり焼成
40	公	阿南市教育委員会	28	2 月 22 日	勾玉つくり
計		40 回	1,443 人		

（矢野・植地）

徳島県埋蔵文化財センター年報　　Vol. 25

－平成 25（2013）年度－

平成 27 年 3 月 26 日

編集・発行　公益財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
〒 779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字平山 86 番 2
TEL（088）672-4545　　FAX（088）672-4550
HP　http://www.tokushima-maibun.net　　E-mail　awapac@tokushima-maibun.net
印刷　㈱教育出版センター